



NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2022
6月号

●発行/一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作/株式会社日本医療企画

お問い合わせ先/一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 <http://nutrition-management.jp>

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会

医療現場で期待される栄養の力 時代をリードするのは栄養経営士

2022年9月11日(日)に開催する第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会の会場が「東京国際フォーラム」に決定した。会場・オンラインでの参加者と現場報告者の募集もはじまっており、協会では多くの栄養経営士に参加いただけることを期待している。

最新の知見から経験豊富なアドバイザーまで

実践に役立つ情報満載

第7回となる今年の大会テーマは「栄養経営士の時代がやってきた!」知識と志で挑む新時代の栄養」。コロナ後を見据え、今後の栄養について参加者全員で考え、実践へとつなげていく大会である。

病院副院長の水野英彰氏が登壇する。水野氏は高齢者を中心とした経腸栄養について数多くの研究・発表されている、栄養に大変造詣の深い医師である。また、副院長という立場で病院経営に携わっており、医療現場の人材がマネジメント能力を持つ重要性も理解されている。講演テーマも「超高齢社会に立ち向う栄養経営士に期待さ

れるアウトカムとは?」となっており、栄養経営士にとって必聴の内容になることは間違いない。昨年好評を博した「栄養経営士オンラインサロン特別編」の開催も決定している。全国の参加者から悩みや疑問を受け付け、当日は宮澤靖代表理事の進行のもと、協会理事や登壇者、また全国大会に参加している栄養経

営士が回答やアドバイスをを行う。経験豊富な理事はもちろん、さまざまな環境で日々奮闘する仲間たちの経験に基づいた言葉は、きっと質問者に有益な情報と新しい視点をもたらすだろう。その他は決まり次第協会の全国大会サイトに掲載するので、ぜひチェックして欲しい。

一人でも多くの栄養経営士・管理栄養士に参加いただき、次のステップにつながることを願っている。

大会の詳細と一般参加・現場報告者登録の申し込み方法は協会ホームページの専用ページに掲載しており、すでに参加登録もはじまっている。遠方や仕事・家庭の事情で会場参加が難しい方もオンラインで気軽に参加できるの、ぜひ下記告知のQRコードからアクセスして欲しい。

基調講演

超高齢社会に立ち向う 栄養経営士に期待される アウトカムとは?



医療法人社団悦伝会
目白第二病院副院長
水野 英彰氏

超高齢社会を迎えている本邦で、今後約30年以上は継続することが推測され、多方面での対策が講じられています。とくに医療・介護の対策はその中心にあります。フレイル状態・サルコペニア・悪液質などの栄養に関する対策は、一層需要視されています。

この状況を踏まえて令和4年度の診療報酬改訂では、栄養管理に関する点数増加がとくに目立ちました。今後も栄養のプロによる超高齢社会への貢献は、益々重要で期待も増えています。

栄養のプロである栄養経営士がこのような状況でどのように結果を出し、医療経済や社会経済に利益を出すのか、とても楽しみであると同時に期待もあります。

今回の講演では、ぜひ皆さんと双方向で意見が交わされることを楽しみにさせていただきます。

取り組みの気つきや疑問を仲間と共有しよう。昨年の全国大会では、8名の栄養経営士が現場報告者として登壇した。満足な結果が出せた人・出せなかった人、ひとつの問題を解決したこと、新たな課題に直面した人など、取り組みがもたらしたものはさまざまである。その取り組みの過程や結果において考



会場となる東京国際フォーラム

©TOKYO INTERNATIONAL FORUM CO., LTD.

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会

参加受付中

開催日: **9月11日**

栄養経営士の時代がやってきた!

— 知識と志で挑む新時代の栄養 —

◆全国栄養経営士のつどい
10:00~17:00 (予定)

◆事前参加登録料

日本栄養経営実践協会会員 **5,000**円(税込)
栄養経営士資格認定基礎講習修了者 **6,000**円(税込)
一般 **7,000**円(税込)

会場: **東京国際フォーラム会議室 G407**
(東京都千代田区丸の内 3-5-1)

※現地とオンラインのハイブリッド形式で開催します。

※現地在をオンラインのハイブリッド形式で開催します。

お問い合わせ・
参加申込はウェブから

<https://www.nutrition-management.jp/gathering/>



一般社団法人 **日本栄養経営実践協会**
The Japan Association for Nutritional Management Practice

NME REPORT
 栄養経営士
 活動報告

栄養経営士活動報告 特別版

栄養経営士×医療経営士

高齢者向け弁当の大ヒットで 管理栄養士の必要性・重要性を周知



栄養経営士の池谷佳世さん(右)と医療経営士の池田孝行さん

ターに勤務する池谷佳世さんは、以前は特別養護老人ホームに所属していた。特養では入居時点で約6割がフレイル状態になっており、食欲が戻らず、すぐに終末期を迎えてしまう人が多かったという。

「入居前の聞き取りでは白米とみそ汁だけなど栄養が偏った食事の方が多く、何とかしたいと思っていました。ある日、東京都がコンビニと組み高齢者向けフレイル予防弁当を販売するという記事を見て、浜松でも行政と組んで在宅の高齢者が健康になれるお弁当をつくりたいと考えました。そこで事業部内の企画部門に話したのが始まりです」(池谷さん)

そのときに話を聞いたのが医療経営士の池田孝行さんで、池田さんは「ただ弁当をつくるだけで終わってはい

けない。その活動を聖隷の財産に変え、地元である浜松を元気にするものにしなれば」と考えたという。

内部の資源だけで企画を進めるのは難しいため、池田さんは行政の知り合いに相談した。そこで紹介されたのが、今一緒に「栄養はなまる弁当」に取り組んでいる企業・団体である。

池谷さんが企画を話してから実際に弁当作

成が決まるまで、1カ月程度だったという。池田さんは「他の企画もあり、タイミングがよかった」と話すが、地元の行政や団体等と普段から培っていた横のつながりが、迅速なスタートにつながったのは言うまでもない。

地道な作業をくり返し心を通わせ成功を掴む

熱い思いを胸にはじめた企画だったが、実際に動いてみると、「ど

こもやっていないことを始めるのは、とても難しいことでした」(池谷さん)。

「栄養はなまる弁当」に協力する企業・団体は「地元の高齢者のフレイルを予防したい」という気持ちに賛同して集まった人たちばかりである。しかし、最初はお互い知らない者同士。相手を知り、心を通わせるまでが大変だったという。

「自分にとっての当たり前が、相手には当たり前ではないこともあります。例えば、利用者者のために考えたことも、お弁当屋さんから『コスト的にも作業量的にも無理』と言われることもあります。何

度も試作を重ね、価格、メニュー、色合いといった調整を一つひとつ行いました。みなさんメインの仕事が他にあるなかでの作業で大変でしたが、浜松市民を健康にしたいという共通の思いを何度確認しながら、企画を進めました」(池谷さん)

開発には半年以上かかったが、完成した「栄養はなまる弁当」は1年で6万食を売り上げる大ヒットとなった。複数の企業が集まりお互いの良い点を出し合えば、大きな目標でも達成できるとわかったことは「貴重な経験になりました」と池谷さんは語る。

弁当の成功からさまざまなコラボに波及

弁当の成功を機に、聖隷の管理栄養士には

さまざまな企業や団体から声がかかるようになった。公益財団法人静岡県産業振興財団からは静岡県内にある飲食店とコラボして欲しいと依頼があり、健康食メニューの開発に管理栄養士6名が関わることになった。その他にも「ウェルネス」をキーワードにリゾートホテルを活用した新規事業にも参画するなど、院外・施設外での取り組みが進んでいる。

こうした波及について、池谷さんは「管理栄養士の必要性・重要性を広く認識してもらえ、将来の管理栄養士たちの活躍の場を広げることにもつながると感じています」と語る。

実は、「栄養はなまる弁当」の初記者発表のとき、壇上に並ぶよう池谷さんの背中を押したのは池田さんだった。その意図は「管理栄養士のスキルは高く、院内だけではなく院外でもさまざまな場面で活躍が可能なのだと広めたいという思いがありました」(池田さん)。

最後に池谷さんは、「やりたいことをやるにはお金や人というコストがかかります。既存の仕事に加えて新たな仕事を増やすのは人に負担をかけてしまうので『本当に必要なことは何?』と自問自答しながらやるようになりました。これも、栄養経営士になって経営の視点が身についたからだと思います。管理栄養士は人が良すぎて後ろに下がりがちですが、自信を持って、自分は栄養のプロなんだと胸を張って欲しい。そして、経営の視点を持った管理栄養士がもっと増えて欲しいと思います」と語ってくれた。

実際に外部からコラボの声がかかっている状況を考えると、この目論見は成功したと言っていけるだろう。

記者発表でプレス向けの集合写真に参加する池谷さん



記者発表でプレス向けの集合写真に参加する池谷さん

「栄養はなまる弁当」第6弾発売
 記者発表会には監修の池谷佳世さんも参加

記事内で紹介している、池谷佳世さん監修の「栄養はなまる弁当」第6弾の記者発表が5月24日(火)に浜松市役所で行われました。この弁当は、浜松・浜名湖地域産の旬の食材である浜松パワーフードを使い、浜松パワーフード学会と聖隷福祉事業団、地元スーパーの遠鉄ストアが組んで開発・販売しているもので、発売のたびに1万食を完売、累計で6万食の大ヒット商品となっています。記者発表当日は地元の新聞・雑誌等が取材に参加。監修者として前に並んだ池谷さんは内容や栄養面での工夫や弁当にかける思いを伝え、記者からの質問にも笑顔で答えていました。

※この取り組みは浜松市の「浜松ウエルネスアワード2022」で市民健康部門の大賞にも選ばれています。



地元の新聞記者の依頼で弁当を紹介している写真を撮影される池谷さん



スマートミールに対応し塩分量は1食2.6gまで抑えられている

記者発表でプレス向けの集合写真に参加する池谷さん

★7月16日(土)会場+WEBで基礎医学講座開催!【九州支部】 脳卒中と認知症について基本的な病態からしっかりと学ぼう!

第15回基礎医学講座～脳神経疾患編～

当講座は、管理栄養士に必要な基礎医学、疾病の病態・診断・治療などを学び、他職種との連携を円滑にするための講座です。「今さら恥ずかしくて聞けない。カンファレンスで話についていけない」という声にお応えし、一から勉強し直したいけど、どこから手をつけて良いかわからない方、学び方がわからない方に最適な講座です。また、医師の立場からここだけは知っておいてほしい!というポイントを解説し、最新の知見に基づいて、基礎医学の正確な知識を学ぶことができます。

今回のテーマは『管理栄養士が知っておくべき脳神経疾患の予防と治療』です。脳梗塞や脳出血などの脳卒中や認知症は、高齢者に多く、低栄養のリスクを高め、寝たきりの原因の約半数を占めています。脳神経疾患の病態を押さえておくことで、高齢者への適切な栄養管理につながります。

明日からの業務に役立つ、管理栄養士が関わる分野に特化した内容を一日で学び直すチャンスです。病態の正しい理解のために、ぜひご活用ください!



最新の研究結果から脳神経疾患の予防・治療に役立つ栄養の知識の習得を

三浦公志郎 先生

今回の基礎医学講座では「脳神経疾患」をテーマとして、特に日常診療でよくみる脳卒中と認知症を取り上げます。脳卒中と認知症はどちらも治療・回復が難しく、要介護および寝たきりの原因として最も多い疾患です。そのため予防が重要であり、その予防には栄養がポイントとなります。

本講座では、脳卒中と認知症などの脳神経疾患に関して病態を理解したうえで、予防や治療に関して学んでいただきたいと思います。身近な疾患でありながら、意外にご存じないこともあるかもしれません。とくに栄養学の最新の研究結果を紹介しつつ、予防につながる食事についても考察したいと思います。

〈プロフィール〉
九州女子大学家政学部栄養学科 教授 (医師)
(所属学会) 日本栄養改善学会、米国微生物学会、日本病態栄養学会
山口大学大学院医学研究科博士課程を卒業、日本栄養改善学会、日本細菌学会、米国微生物学会など、さまざまな学会に所属。現在は九州女子大学家政学部栄養学科で、病態生理学などを担当。三浦氏の講義は大変わかりやすく、生徒やその他セミナー受講者にも定評がある。

講座概要

【開催日】 2022年7月16日(土)
【時間】 10:30~16:30
【開催会場】 第三博多館成ビル503(福岡市博多区博多駅南1-3-6)
※WEB視聴(リアルタイム配信)も同時開催
【講義内容】 ・脳神経疾患の医学的な基礎知識
・認知症について
・脳神経疾患について症例検討(グループワーク)
※講義内容は変更の可能性あり
【受講費】 (一般)8,000円
【会員・定期(※)] 7,000円
※会員:日本栄養経営実践協会会員、定期:『ヘルスケア・レストラン』の定期購読者
【申込方法】 QRコードもしくは下記URLより申込み
<https://forms.gle/uPJWgZbwf4DGiWN5A>

【受講定員】 40名(先着順/事前申込み必須)
(会場は6名まで)
【主催】 株式会社日本医療企画九州支社
【後援】 日本栄養経営実践協会九州支部



最新の学びを栄養経営に活かそう! : JSPEN2022

2022年5月31日(火)、6月1日(水)に「第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会(JSPEN2022)」が横浜・みなとみらいで行われました。会場となったパシフィコ横浜ノースにはのべ約2,500人が参加(オンラインを含めると9,300人超)、早朝から参加者が集まり、本協会からは栄養経営士や宮澤靖代表理事をはじめとする理事の先生方が登壇されました。

1日目 初日は朝9時から各会場ともスタートし、第11会場で行われた『要望演題04 栄養評価』では吉田貞夫理事が座長を務められました。お昼からの『学術セミナー01』では栄養経営士の宮島功さん(近森病院)が周術期の栄養サポートについて自院での取り組みを紹介し、周術期にしっかりとアセスメントをとって適切に栄養介入することが重要だと伝えました。同じく『学術セミナー06』では宮澤靖代表理事が食物繊維を活用した経腸栄養の実践について講演し、東京医科大学のICU・CCUでの経腸栄養のプロトコルや、管理栄養士が病棟常駐する前後の介入率の比較等、貴重なデータが紹介されました。

『要望演題09 地域連携・在宅栄養管理』では秋山和宏副代表理事と児玉佳之北海道支部長が座長を務められました。その後、秋山副代表理事は『一般演題33 NST5』で排便サポート回診について発表され、エコーによる便の確認や多職種での介入とその結果などを伝えました。『一般演題18 食形態調整・ミキサー食』では関西支部の岡田有司副支部長が座長を務め、『一般演

題13 予後予測』では栄養経営士の阿部克幸さん(前橋赤十字病院)が肺がん患者の入院期間に影響する因子について発表を行いました。

この日最後の時間帯に行われた『シンポジウム01 栄養評価のニューノーマルand MIRAI-GLIM criteriaの活用-』では吉田貞夫理事が登壇し、eGFR比とCre/Cys比のサルコペニア判定の精度について発表を行いました。『パネルディスカッション04 タスクシフト・タスクシェア』では栄養経営士の宮島さんが再度登壇し、また、東京医科大学病院からの発表として登壇者とともに宮澤代表理事も同席されました。タスクシフトに関して、管理栄養士の病棟常駐による効果はまだこれから検証が進むこととなりますが、少しずつでも着実に変化が始まっている印象を受けました。

2日目 この日は朝から『シンポジウム09 嚥下調整食のニューノーマルandMIRAI』で西岡心大理事が登壇、リハ病院での摂食嚥下障害の患者への“攻めの栄養管理”の実践について発表しました。実はこの日、朝から音響機材トラブルがあり、会場ではマイクを使わずに地声で発表を行うというアクシデントがありました。西岡理事の会場も地声発表となり、発表前には「ぜひ前



申込開始早々に満席となった宮澤靖代表理事の学術セミナー

の方にお座りください」というお願いが出されるなど、なかなか大変なプログラムとなりました。

『一般演題78 栄養教育』では前日に続き関西支部の岡田有司副支部長が座長として登壇されました。ここではE-ラーニングを使った臨床栄養教育や他職種への栄養教育の効果など、さまざまな取り組みが発表されました。

2日目は音響機材トラブルのためプログラムの時間・内容変更がありややあわただしくなりましたが、精力的に会場をめぐって興味ある発表を聞き逃すまいとする参加者の姿がとても印象的な2日間でした。

○セミナーや学会に参加して刺激を受け、新たな取り組みをはじめたときには、ぜひ当協会のfacebookを活用してご報告ください! 協会からのお知らせや研究会・セミナーの情報も発信しております。



企業展示コーナーではあちこちで商品説明を聞く姿が見られた

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

セミナー情報

栄養指導に必要な薬のはなし講座 ～疾病の成立～

栄養指導が必要な方は生活習慣病などの薬を服用している場合が多々あります。この講座では、日本人に多く見られる生活習慣病の治療薬を、薬の基本を織り交ぜながら学びます。

- 日 程:8月28日(日)10:00～15:00(うち休憩1時間)
- 講 師:佐伯有美氏(名古屋医専 看護学科・歯科衛生士学科・視能訓練士の薬理学講師/薬剤師)
- 参加費:8,000円 ※テキスト付は+500円
- 形 式:オンライン(Zoom)
- 主催/お問い合わせ:株式会社東洋システムサイエンス
TEL:045-451-3191



協会事務局より

2022年8月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年8月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 年度会費:有効期限が2021年8月20日～2022年8月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新:会員資格が2019年8月20日～2022年8月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- 支払期限:2022年7月19日(火)までに指定口座へ振り込み
- お問い合わせ:一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903

エビデンスに基づいた、早期回復をうながす 術前・術中・術後の栄養管理について学ぼう!

令和4年度診療報酬改定で周術期では栄養管理、薬剤管理、術後疼痛管理について新たな加算が創設されましたが、周術期の栄養管理については「何をすればよいのか」「どうすればうまくできるのか」がわからない方も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、ERASのプロトコルをベースに術前・術中・術後にどのような栄養管理をすればよいのか、周術期のチーム医療はどのようなものか、何が患者の早期回復に役立つのかといった内容が学べます。

周術期に求められる栄養管理について、エビデンスに基づいた正しい知識と手法を学び、患者さんにとっても、病院にとってもより良い治療をめざしましょう!

2022年
7月22日(金) 17:00～19:00
(120分)

- 開催方法:オンライン開催
※Zoom使用
※開催後2週間のアーカイブ配信あり
- 受講料:栄養経営士 4,500円
一般 5,000円

講 師

たにぐちひでき
谷口英喜氏

社会福祉法人恩賜財
団済生会横浜市東部
病院 患者支援センター
長・栄養部 部長



日本ヘルスケア経営学院 事務局 (株式会社日本医療企画内)
TEL:03-3553-2862 Mail:jissenkenkyu@jmp.co.jp



お申込みは
こちらから

プログラム

・周術期の栄養管理(40分×2) ・症例検討(30分) ・質疑応答(10分)

※適宜休憩をはさみます ※質疑応答の内容は当日の受付のほかに事前募集もいたします

「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講が可能!
☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

- 【こんな方におすすめ】
- ・会場で受講したが、内容を復習したい
 - ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
 - ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1:90分、DISC 2:73分)

- 1.院内・施設内における栄養部門の現状分析
- 2.目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
- 3.業務の質を高めるためのアウトカム分析
- 4.「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
- 5.適材適所の組織マネジメント
- 6.病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3:約30分)

観てわかる!近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

- 講 師:宮澤 靖 代表理事ほか
- 受講料:8,500円(税込) 会員価格:3,850円(税込)